



つながる・ひろがる

市民活動フェスタ2017

平成29年

3月18日土

会場：ワークピア磐田

入場無料

しっぺいも来るよ!



10:00 ~ 15:30 磐田市見付 2989 番地 3 ☎0538-36-8381

第1部

10:00 ~ 12:00

平成28年度 協働のまちづくり 提案事業報告会



磐田市と市民活動団体が協働して行った提案事業の実施報告会とパネルディスカッションを行います。

- 子どもの健康と環境を考える会 × 危機管理課
- NPO法人キャリア教育研究所ドリームゲート×学校教育課

第2部

13:00 ~ 15:30

市民活動団体 展示発表 体験会



市民活動団体の方たちと交流しながら、活動の様子や体験コーナーを通して、気になる活動団体をチェックしてみませんか。大人だけでなく、子どもたちも楽しめる企画がたくさんあります。ぜひ、ご家族でお越しください。

平成28年度

「男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞」で
「医療法人弘遠会 すずかけヘルスケアホスピタル」が表彰されました!

ともりあ



リハビリテーション技術部長兼
WLB推進委員会委員長
宮内良治さん

看護部長
松本志保子さん



《表彰を受けた喜びの声》

Q: 宣言事業所の部門は、倍率が高く、応募してもなかなか受賞できないと伺っていますが、その中で今回初めて応募して受賞した感想は?

A: みんなで実施して、知事褒賞をいただく目的で行ったわけではないので、まだこれからという気持ちが強いです。ただ、表彰式の際に知事が受賞者ごとにコメントしていただき、それが一番感激しました。「リハビリを頑張っている人たちにみんなでむかわなければいけない。みんなでむかうという哲学が素晴らしいということに感動しました。すずかけって素敵ですね。」と言われたことがすごく嬉しくて、それはみんなに伝えました。

【インタビューレポート（すずかけヘルスケアホスピタル）】



WLB(※) 推進のきっかけは

・看護師がやめていく現状があって、優秀な看護師を集めたい。そのためにもやれることは何でもやろうと思ひ、面談や調査を行って、県の看護協会の支援を受けながらWLBの推進の実践をしてきました。

実施してきたことは

・組織全体として取り組むため、看護とリハビリが手を組み、当初は役職者が委員となり、超過勤務削減や有休消化を推進し、効果が高いと感じました。その後、一般職の自薦に変え、より実態に即したものとなりました。
 ・しっかり仕事をするのが大前提で、業務改善も併せて実施し、改善報告会を開催しています。



設立：平成 15 年 6 月 1 日
 従業員数：285 人
 (女性 212 人、男性 73 人)
 基本理念：旅人が疲れを癒したすずかけの木陰の優しさを信条として、利用者の生活の質を高めるために、保険、医療、福祉をつなぐチーム医療サービスを提供することに最善を尽くします。

成果は

・離職はかなり減って、意識として、皆仕事は一生懸命やるし、楽をしようとする人たちはいなくなっています。一番は、職場風土が大事だと思うので、そこが良くなったと感じます。規模にもよりますが、組織全体として同じ目標に向かっていっているので、すごく働きやすいと思っています。
 ・家庭でも喜ばれ、若い人は年間スケジュールを組みながら海外旅行に行く方が多くなりました。

※ WLB…ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の略。

知事褒賞ってどうやって表彰されるの？

男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞とは…

県内で男女共同参画の推進に関する取組を積極的に行っている個人・団体を静岡県が表彰。例年 3 月下旬から募集が始まり、7 月 30 日の静岡県男女共同参画の日を目安に決定。

表彰される対象は…

個人の部・団体の部・宣言事業所の部・チャレンジの部の 4 部門で表彰。今まで磐田市内では、団体の部でウィミズネットいわた（平成 19 年度）、事業所の部で、ヤマハ発動機株式会社（平成 17 年度）・磐田化学工業株式会社（平成 19 年度）・NTN 株式会社 磐田製作所（平成 21 年度）が表彰。詳しい応募条件や選考基準については、静岡県男女共同参画課ホームページへ。

磐田市も男女共同参画社会づくり宣言事業を推奨しています。

宣言事業所に対して、磐田市から男女共同参画に関する講座等の情報提供や、先進優良事例について、広報誌や機関紙を通じて紹介していきます。また事業所同士の情報交換会等も今後検討したいと考えております。具体的には、下段の磐田市男女共同参画プランの改定により実施する予定です。

【磐田市内の宣言事業所一覧】 磐田市内には平成 29 年 2 月 1 日時点で 32 の宣言事業所があります。

遠州中央農業協同組合	社会福祉法人 長生会	特定非営利活動法人サンサンいわた
西遠ゴム工業株式会社	ワールド・カフェ with しずおか	すずかけヘルスケアホスピタル
社会福祉法人 磐田市社会福祉協議会	株式会社イトー	特別養護老人ホーム 豊田一空園
株式会社 特殊電気	株式会社 鈴恭組	介護老人福祉施設 梅香の里
磐田さぎさか工業団地協同組合	特別養護老人ホーム西貝の郷	第一商事株式会社（平成 28 年度宣言）
日東工業株式会社 磐田工場	インターブレイン税理士法人	株式会社遠鉄ストア 磐田店・竜洋店・池田店・見付店（平成 28 年度宣言）
磐田市商工会	平野建設株式会社	株式会社 篤宗建設（平成 28 年度宣言）
社会福祉法人 染葉会 豊田みなみ保育園	株式会社 堀内土木	社会保険労務士法人 橋本労務管理事務所（平成 28 年度宣言）
磐田商工会議所	静岡トヨペット株式会社 磐田店	子どもの健康と環境を考える会（平成 28 年度宣言）
株式会社 スカイ	石川建設株式会社	

男女共同参画社会づくり宣言事業とは…

静岡県では県内企業や団体が、女性の参画拡大やWLBの推進など、男女共同参画に取り組むことを「宣言」として登録。宣言内容は趣旨に沿うものであれば小さな取り組みでも可。

男女共同参画社会づくり宣言に登録すると…

- 1 宣言内容（取組内容）を記載した登録証の交付
- 2 県のホームページで紹介
- 3 研修会等の講師紹介や謝金の補助（最大 3 万円）
- 4 大学生等を対象とした企業説明会に参加可
- 5 事例発表会・情報交換会・講演会などの情報提供
- 6 静岡県の入札参加資格審査等で優遇が受けられる「こうのとりのカンパニー」認証の必須条件

男女共同参画社会づくり宣言をするには…

取り組み内容を「宣言届出書」に記入し、県へ提出。届出書は県男女共同参画課のホームページからダウンロード。

男女共同参画社会づくり宣言

磐田市男女共同参画プランを改定します。

平成 19 年に策定された磐田市男女共同参画プランが、計画期間である 10 年を経過するため、平成 29 年度からの新プランとして、「第 2 次磐田市男女共同参画プラン」を策定しています。「第 2 次磐田市男女共同参画プラン」の案の詳細は磐田市 HP に掲載してあります。次回の本誌では具体的にご紹介したいと思います。

協働推進シンポジウム

「減災をめざした地域づくり」開催！

平成 28 年 12 月 10 日（土）13:30 ~ 16:00
 青城交流センター

コーディネーター 東海大学広報メディア学科 教授 河井孝仁 氏
 パネリスト 磐田市自治会連合会 防災部長 杉浦 聖 氏
 磐田市社会福祉協議会地域福祉課 磯部直志 氏
 いわた減災ネットワーク連絡会 会長 松山正之 氏
 いわた減災ネットワーク連絡会副会長 木村淑恵 氏

市民活動は、団体活動の特徴を共有し協働することで、活動範囲の広がりや活動内容の充実が図られます。今回は、市民の防災意識の向上や減災を目指し活動している市民活動団体が集まり、これからの磐田市に何が必要であるかを確認しました。

【活動紹介】いわた減災ネットワーク連絡会 松山氏
 主催事業：「防災ファミリー運動会」楽しみながら防災について学ぶ場を提供
 協力事業：「親子避難所体験会」「防災講座」交流センターや子ども会からの依頼に基づき実施



チビっ子も大活躍 毛布タンカ競争

子どもを持つ母親たちの防災意識の向上を目指して活動を展開中。講座などの開催希望も受付中

【パネルディスカッションの内容】

- ・防災教育について、団体との連携が必要
- ・女性目線を生かした支援の必要性
- ・障がい者団体との連携の必要性
- ・自治会連合会防災部会の課題：防災に対する住民意識の向上、防災訓練の充実、防災訓練への女性参加の仕掛けの検討
- ・実際に防災講座を体験した女性や母親たちの声を聞く機会を設けることも防災意識向上に有効的ではないか。
- ・防災訓練には、全員が役割を持ち、目的を持って参加することが大切
- ・情報の伝え方に工夫が必要。物資供給の情報、要配慮者（障がい者、高齢者、乳幼児、妊産婦など）の情報を誰が見てもわかるよう表示する方法の検討

【参加者の意見】

- ・防災訓練は、自治会の規模によって変わってくる。自治会単位だけでなく、さらに小規模単位の訓練も必要ではないか。
- ・他の自治会の訓練の様子がわからない。日時を変えて行うことで、他の自治会の訓練の様子を知り、自分たちの訓練を見直すことができる。
- ・ペット同行避難は、飼い主の意識改革が必要

【今後に向けて】

- ・自治会連合会として、検討が必要な課題が明らかとなった。そして、自治会と減災ネットワークのつながりが今後の訓練に有効的なことが分かった。
- ・より多くの方々に防災・減災について関心をもっていただくために、各地域でこのようなシンポジウムを開催していきたい。



H28 年度 みんなの活動応援講座

ファシリテーター（会議の進行役）体験講座

「楽しい会議が“いわた”を変える」
 ～地域を元気にする会議の極意～

平成 28 年 10 月 30 日（日）13:30 ~ 16:00
 豊田東交流センター 研修室 2・3
 講師（一社）会議ファシリテーター普及協会 副代表理事 小野寺 郷子 氏

今回は、交流センターを会場にしたことにより、地域づくり協議会など地域で活動している方々の参加があり、10代から60代と幅広い年齢層が集まりました。

この講座では、参加者が会議の進行役を体験しながら、グループ全員の意見を引き出し、互いにその違いを尊重し、より良い結論を皆で考えていくことの大切さを学びました。

講師からは、“会議とは、参加者の主体性や可能性を引き出す人材育成の場である”ということを教わりました。

＜参加者の声＞

- ・アイデアを数多く出すことで、ひらめきが見つかる可能性があることが分かった。
- ・実際に体験できたので、進行役の役割や会議の進め方が良く分かった。
- ・みんなの意見を聴くことを大切に、職場でも取り入れていきたい。



プレゼンテーション講座

「見える化するポイントを学ぶ！」
 ～活動の発信力を高めるために～

平成 28 年 11 月 12 日（土）13:30 ~ 16:30
 のっぽ交流スペース
 講師 プロセスコンサルタント 守本 尚子 氏

団体の活動をPRする場で、効果的にアピールするための手法を学びました。

団体紹介では、情報整理シートを使って「活動内容」「活動が始まったきっかけ」「得意なこと」など8項目の中から3項目を選んで発表しました。

グループワークでは、どのような質問をすれば欲しい情報が得られるかを体験しました。

情報を整理し、見える化して目的やねらいをもって準備し、交流会などに参加することが大事だということを楽しく学びました。

＜参加者の声＞

- ・広報力アップのための、新しい視点ができた。
- ・他の参加者からリアクションやフィードバックをたくさんもらい、自分たちの活動の問題点、良いところが見えてきた。
- ・モヤモヤしている気持ちがスッキリし、再スタートできそう。



平成 29 年度
 事業予定

- 出前講座 ● 協働シンポジウム ● 防災ファミリー運動会
- 中学生リーダー育成ボランティア講座（初級） ● NPOボランティアなんでも相談



ヤマハララグビー NEWS

～ホームタウンのラグビーチームとして～

2016年度シーズン トップリーグ準優勝・ 日本選手権ベスト4 たくさんのご声援を 有難うございました!

清宮監督ご挨拶

今シーズンも選手たちへの熱いご声援を誠に有難うございました。皆様の応援を味方に開幕から12連勝し、天王山となったヤマハスタジアムでのサントリー戦を迎えました。結果は悔やまれますが、日本中のスポーツファンが『磐田市での優勝決定戦』に注目してくれました。来季は悔しさをバネに、さらに進化したヤマハララグビーをお見せします。引き続き応援を宜しくお願いします。



ヤマハ発動機ジュビロ監督
清宮 克幸

三村主将ご挨拶

今シーズンも応援を有難うございました。結果には満足していませんが、シーズンを通じて自分たちの強みであるスクラムを活かしたラグビーがグラウンドで表現できたと思っています。上位チームとの試合で自分たちに足りなかったものを見極めて、来季に挑みます。たくさんのご声援、本当に力になりました。有難うございました。



主将
三村 勇飛丸

2016-2017 トップリーグ成績

節	対戦相手	結果	節	対戦相手	結果
1	パナソニック	24-21 ○	10	豊田自動織機	63-7 ○
2	キャノン	35-16 ○	11	NEC	47-5 ○
3	サニックス	43-10 ○	12	神戸製鋼	33-15 ○
4	東芝	40-6 ○	13	サントリー	24-41 ●
5	リコー	47-14 ○	14	近鉄	26-12 ○
6	クボタ	53-0 ○	15	トヨタ自動車	27-8 ○
7	ホンダ	47-25 ○			
8	NTTコミュニケーションズ	21-17 ○			
9	コカ・コーラ	50-11 ○			

リーグ戦 **14勝1敗**
最終順位**2位**

受賞

- トップリーグ準優勝
- フェアプレーチーム賞
- ベストフィフティーン
フッカー：日野剛志選手
プロップ：伊藤平一郎選手
センター：ウィリアム・タヒトゥア選手
- ベストキッカー賞
ゲラード・ファンデンヒーファー選手
- 特別賞 リーグ戦通算150試合出場
山村亮選手
大田尾竜彦選手



第54回日本選手権成績

準決勝 ヤマハ発動機ジュビロ **24-36** パナソニックワイルドナイツ
(トップリーグ2位) (トップリーグ3位)

最終成績 **日本選手権ベスト4**

スーパーラグビー「サンウルブズ」情報

2月末から南半球の最高峰リーグ「スーパーラグビー」が開幕します。日本チーム「サンウルブズ」にヤマハから山本幸輝選手、日野剛志選手、伊藤平一郎選手、ヘルムヴェ選手、三村勇飛丸選手、矢富勇毅選手の合計6選手が選出されました。大会は7月中旬まで15試合を行い、上位による決勝トーナメントが8月中旬まで行われます。サンウルブズの初戦は2月25日(土)東京の秩父宮ラグビー場にてニュージーランドの強豪「ハリケーンズ」と対戦します。スーパーラグビーに参加するヤマハ選手への応援を宜しくお願いします。

磐田市の皆様と共に

◆ 豊浜小学校など5校を訪問

2016年度に選手全員で小学校を訪問する「フレンドシッププログラム」を豊浜小をはじめ、豊岡南小、豊田北部小、青城小、大藤小の5校にて実施しました。児童たちはラグビー選手たちと楯門のボールを使った遊びや高く持ち上げてもらうなど、校庭で楽しい時間を過ごしました。参加した吉沢選手は「多くの児童がヤマハスタジアムに行ったことがあると言ってくれ、嬉しく思いました」と子供たちにラグビーが浸透していることを実感した様子でした。

